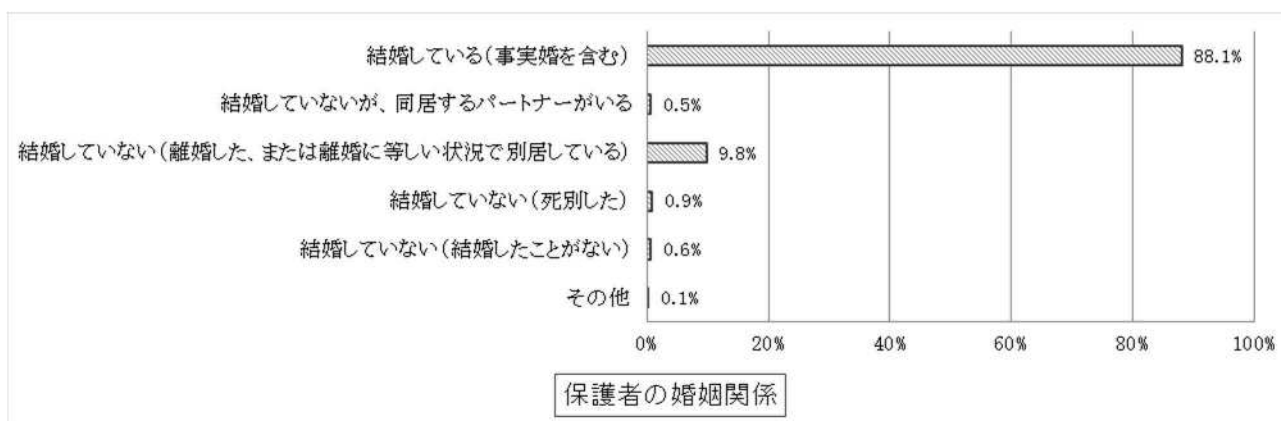


## 2. 保護者とその家族

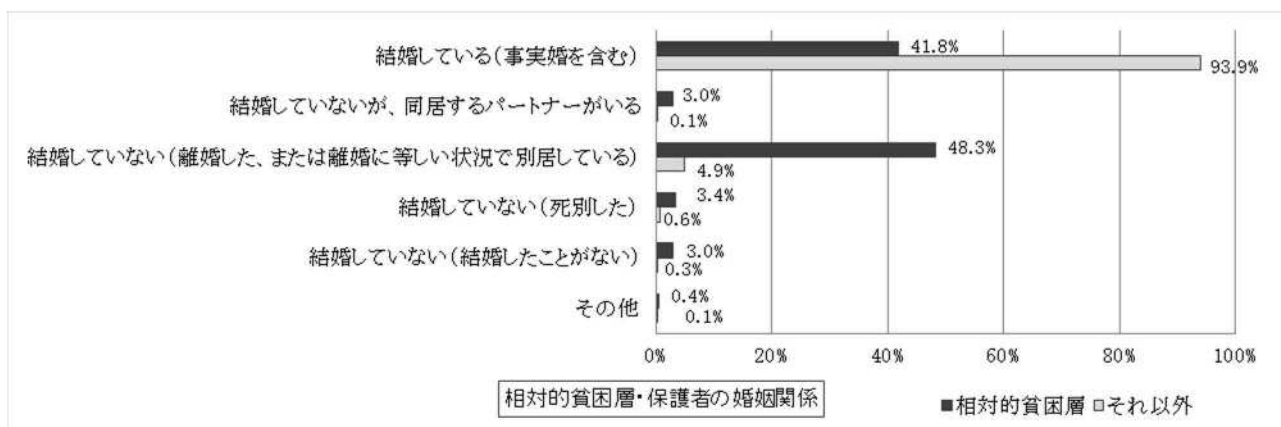
問3 このアンケートを持ち帰ったお子さんの親の婚姻関係についてお答えください。

「結婚している（事実婚を含む）」と回答した人が9割弱です。次いで「結婚していない（離婚した、または離婚に等しい状況で別居している）」が約1割で、その他の選択肢の割合はそれぞれ1%未満です。

相対的貧困層では「結婚している（事実婚を含む）」が約4割で、「それ以外」に比べて2分の1以下です。また、「結婚していない（離婚した、または離婚に等しい状況で別居している）」は「結婚している（事実婚を含む）」を上回り、約5割と高い割合です。



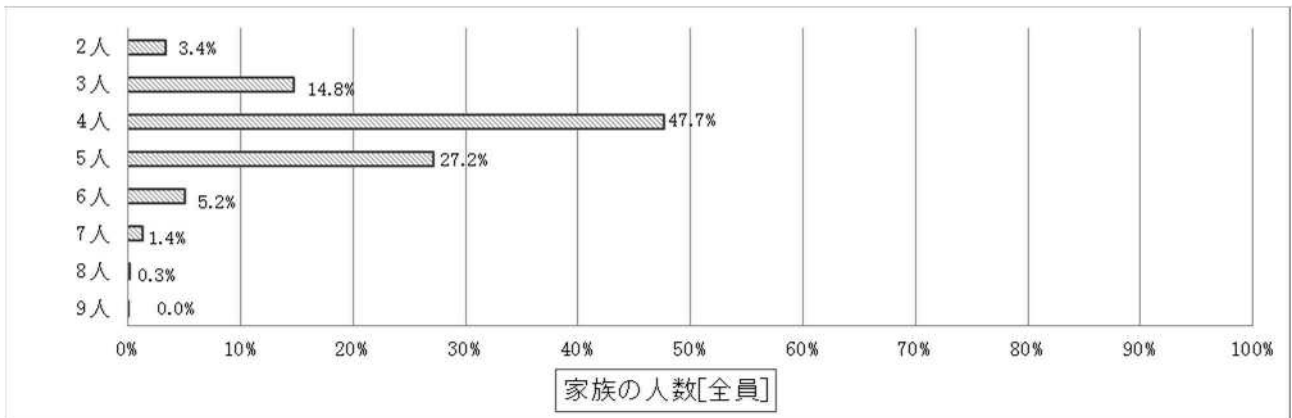
(N=2614)



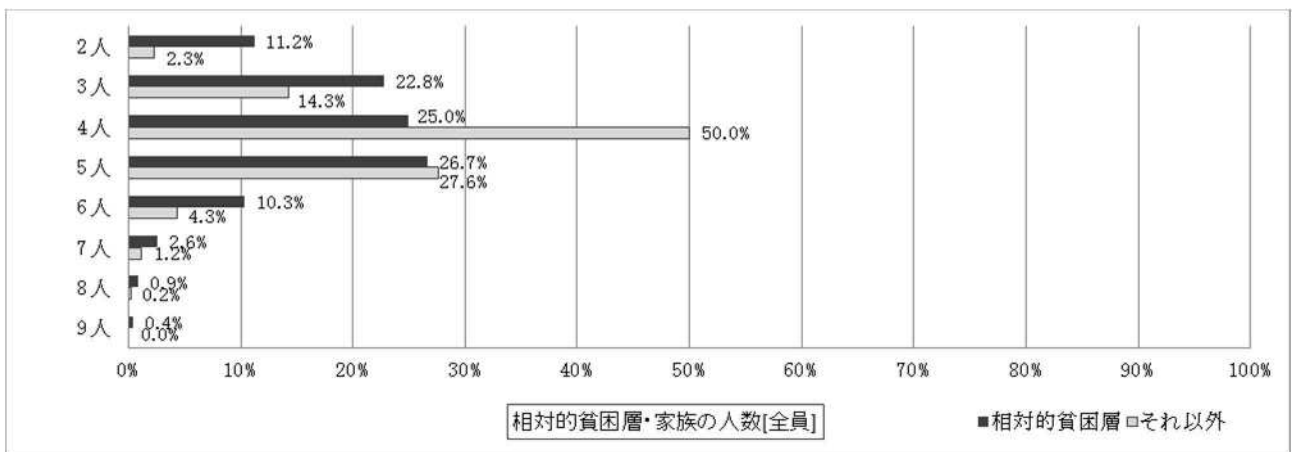
(相対的貧困層 N=232 それ以外 N=2104)

問 4-1 あなたのご家族は何人ですか。(全員で)

「4人」がもっとも多く、回答全体のほぼ半数を占めています。次いで「5人」、「3人」の順です。相対的貧困層では、「3人」「4人」「5人」がそれぞれ22%~27%で、「4人」という回答は「それ以外」に比べて2分の1です。



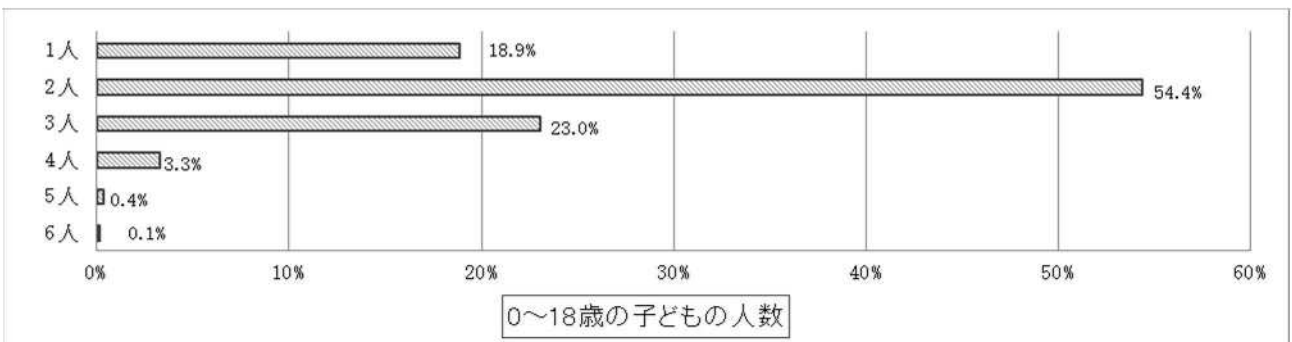
(N=2616)



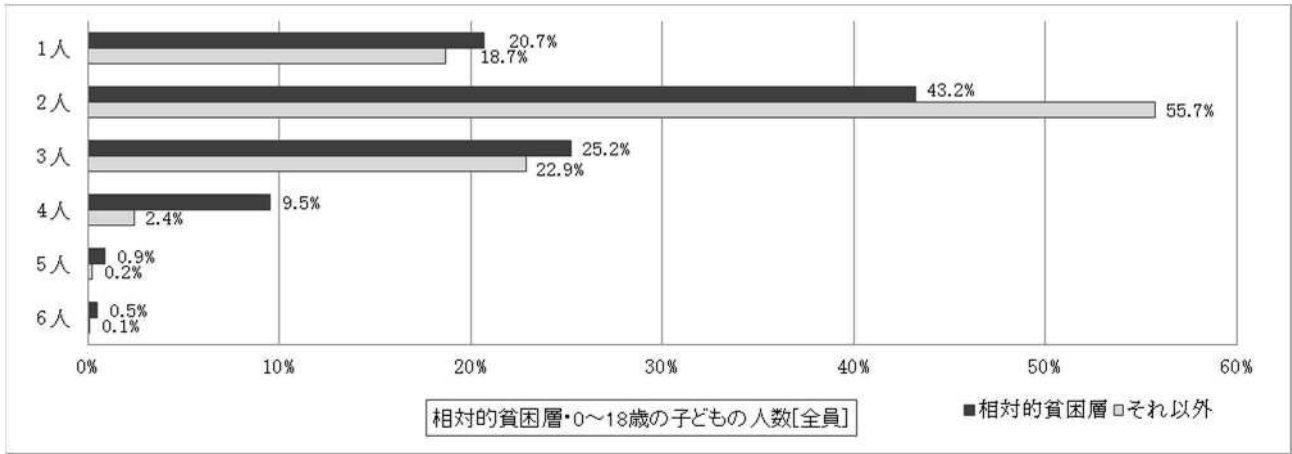
(相対的貧困層 N=232 それ以外 N=2337)

問 4-2 あなたのご家族は何人ですか。(0~18歳の子どもの人数)

「2人」が54.4%で回答全体の過半数を占めています。次いで「3人」「1人」が20%前後です。相対的貧困層では、「2人」が43.2%でもっとも多いですが、「それ以外」と比べると12.5ポイント低くなっています。また、「3人」から「6人」までの割合が「それ以外」に比べて高くなっています。



(N=2534)



(相対的貧困層 N=222 それ以外 N=2046)

### 問5 家族の人数

属性別に家族の人数を数え、回答されたケース数を分母に百分比で表すと、下の表のとおりです。ここでは世帯でなく、回答者を含む家族の人数を答えてもらっているため、回答結果は回答者による家族の捉え方に左右されることに注意が必要です。

(単位: %)

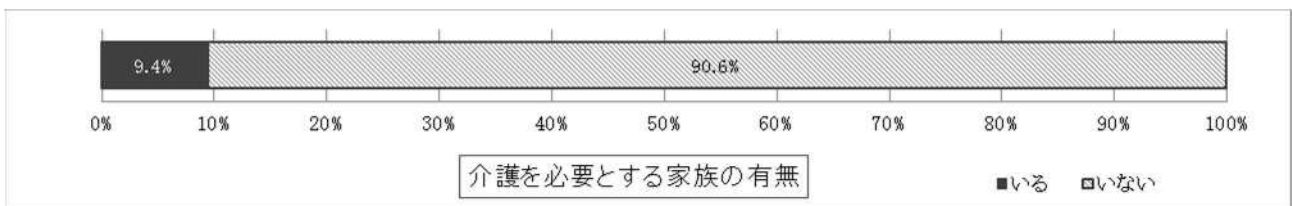
	0人	1人	2人	3人	4人以上
小学校入学前	84.6	14.0	1.3	0.1	0.0
小学生	22.7	50.7	24.7	1.9	0.1
中学生	40.7	55.4	3.9	0.1	0.0
高校生	79.2	19.7	1.0	0.1	0.0
大学、短大、専門学校等	95.4	4.4	0.2	0.0	0.0
就職・その他	91.1	1.5	5.4	1.3	0.7
母親	5.5	94.5	0.0	0.0	0.0
父親	11.8	88.2	0.0	0.0	0.0
祖母	90.8	8.9	0.3	0.0	0.0
祖父	95.0	5.0	0.1	0.0	0.0
その他の家族	95.5	3.6	0.8	0.1	0.0

(N=2616)

### 問6 あなたが介護または介助している方はいますか。

介護または介助の必要な家族が「いる」家庭は、9.4%でおよそ1割です。

相対的貧困層と「それ以外」の間に統計的な差は見られません。

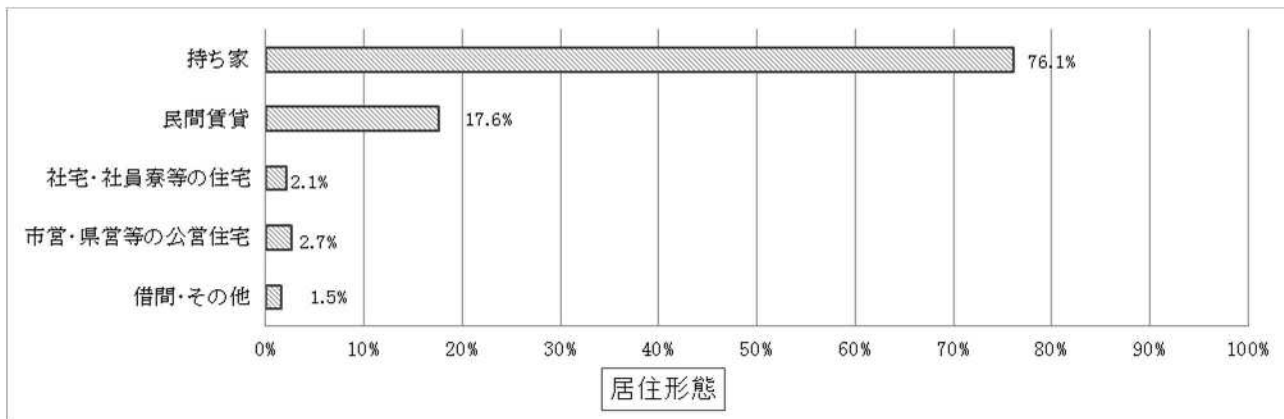


(N=2610)

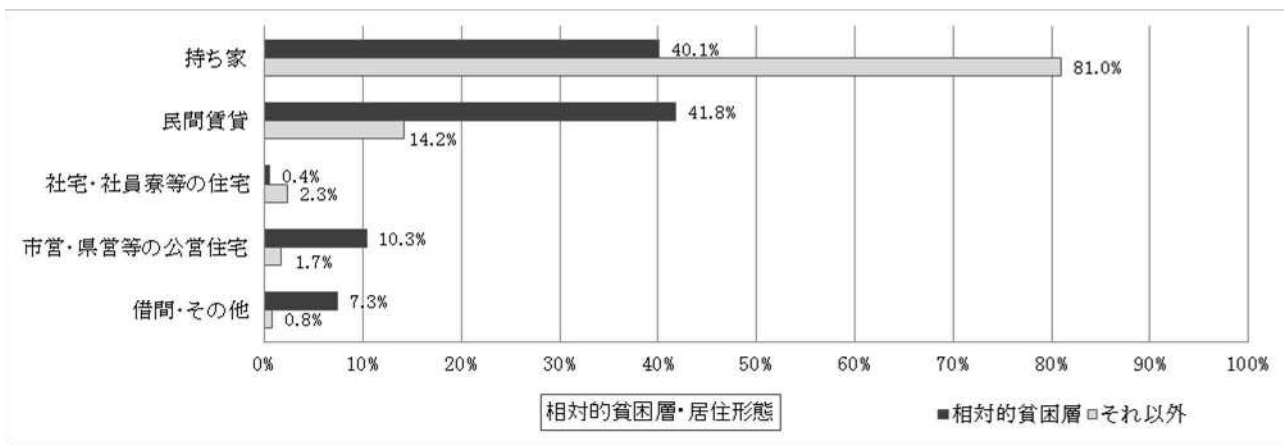
問7 現在お住まいの住居の種類についてお答えください。

「持ち家」と回答した保護者は76.1%の高い割合で、民間賃貸の17%台と4倍以上です。

相対的貧困層では、「それ以外」に比べて「持ち家」の割合は約2分の1で、「民間賃貸」は3倍近くになっています。



(N=2602)



(相対的貧困層 N=232 それ以外 N=2098)

保護者とその家族<小括>

家族の人数は「4人」がもっとも多いですが、相対的貧困層では「5人」がもっとも多くなっています。子ども(0~18歳)の人数は、「2人」が目立って多く、「1人」「3人」の合計をも上回っています。家族の中に同居している祖父母のどちらかがいる割合は、1割に満たないことがわかります。

婚姻形態に注目すれば、「結婚している」が9割に近いですが、相対的貧困層では「結婚していない」という回答が5割を超え、「結婚している」という回答のおよそ4割を上回っています。

住居の種別に注目すれば、全体としては「持ち家」が目立って多いですが、相対的貧困層では「持ち家」の割合が「それ以外」に比べてほぼ半分になっており、その分、「民間賃貸」「市営・県営等の公営住宅」の割合が高くなっています。